

地域再生計画評価調書（令和2年度）

■大阪市地域再生エリアマネジメント計画

●大阪駅周辺地区における数値目標及び目標達成度

評価指数 (KPI)	事業開始前	2019年度 増加分 (1年目)	目標数値、実績値及び目標数値に対する達成度									2020年度KPI達成状況及び分析
			2020年度 増加分 (2年目)	2021年度 増加分 (3年目)	2022年度 増加分 (4年目)	2023年度 増加分 (5年目)	2024年度 増加分 (6年目)	2025年度 増加分 (7年目)	2026年度 増加分 (8年目)	KPI増加分 の累計		
目標1 エリアマネジメント団体の新規法人化	目標	—	1	0	0	0	0	0	0	0	1	新たに法人化されたエリアマネジメント団体が1団体あり、目標以上の団体が法人化しており、大阪市内においてエリアマネジメント活動が活性化されてきていることが伺える。
	実績	1	2	1							3	
	達成度											
目標2 都市再生推進法人の新規指定	目標	—	0	0	1	0	0	0	0	0	1	本年度新たに創設した都市再生推進法人準備団体認定制度を活用するエリアマネジメント団体が2団体あり、都市再生推進法人の指定に向けた取組を実施しているところである。
	実績	1	0	0							0	
	達成度											
目標3 歩行者通行量※の増加（人）	目標	—	—	15,000	5,000	800	800	800	800	800	24,000	コロナ流行による来訪者数減少や当日が雨天であったことにより、事業開始前の歩行者交通量の半数以下となっている。
	実績	—	—	▲34,000							▲34,000	
	達成度											
目標4 大阪駅周辺地区における商業施設等の売上高の増加（千円）	目標	—	—	75,000	25,000	—	—	—	—	—	100,000	今回のイベントへの参加者アンケート調査の結果、大阪駅周辺地区での消費額が1人当たり平均約6,600円、来訪者が9,711人であることから売上高の増加は約64,092千円であると見込まれ、目標値である75,000千円の増加には至っていない。
	実績	—	—	64,092							64,092	
	達成度											
目標5 大阪駅周辺における地域来訪者等利便増進活動計画（案）に対する想定受益事業者の同意率（%）	目標	—	—	—	67	—	—	—	—	—	67	—
	実績	—	—	—							0	
	達成度											

※地方創生推進交付金事業開始前の通常時歩行者通行量：63,000人

●評価年度において実施した事業

<p>■事業名称 梅田あるくフェス</p> <p>■開催期間 日程：2020年10月17日（土） / 時間：11:00～18:00</p> <p>■会場 大阪梅田エリア3ヶ所（JR大阪駅5F 時空の広場／阪急サン広場／阪神梅田本店東会場）</p> <p>■事業内容</p> <p>○イベント内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 「見つけよう！健康のために毎日できること」をテーマに一過性の情報ではなく、持続的な健康促進情報を「身体（カラダ）」「食事（フード）」「精神（ココロ）」の3つの視点から発信。 社会実験を実施する公共的空間3ヶ所をラリーポイントに設定した回遊性の向上と来街者促進を図るウォークラリーの開催。 商業や施設が集積されている梅田エリアの特色を生かした健康活動にエリア全体で取り組み、健康街区・梅田を目指す。 <p>○調査内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺歩道の歩行者交通量調査 事業開始前と同一箇所でのイベント当日の歩行者通行量を測定。 来訪者アンケート調査 調査項目 梅田地区への来訪頻度、よく立ち寄る商業施設、買い物・飲食の出費額等について、梅田地区関心層と、まち巡りラリー参加者を対象として実施。 調査方法 梅田地区関心層を対象とした調査（サンプル取得目標数：400サンプル） WEB登録されているモニターから、過去1年間で平均して月1度以上、梅田に来訪（通勤・帰宅途上での梅田立ち寄り含む）して、買い物、飲食、娯楽、習い事、散策等を行った方を対象。 調査期間はイベント後の1週間（2021年10月18日（日）～25日（日）） まち巡りラリー参加者を対象とした調査（サンプル取得目標数：200サンプル） まち巡りラリー参加者を対象にラリー完走後、WEB登録していただき、WEBから調査内容に回答する方式を採用（新型コロナウイルス感染症対策）
--

●評価年度における事業の結果

<p>■イベント結果</p> <p>来訪者：9,711人（計測方法：各イベント会場での計測の合計）</p> <ul style="list-style-type: none"> イベント参加企業、団体との連携 参加・協力団体：20団体 地域連携 大阪府健康づくり支援プラットフォーム整備事業等である、大阪府民の健康をサポートするアプリ「アスマイル」と連携し、アスマイルアプリ及びwebページで「梅田あるくフェス」の開催告知を行い、各会場のInfoboothでアスマイルのチラシ設置。 広報 2020年10月以降に各媒体によりイベント開催及び実施報告を掲載。 <ul style="list-style-type: none"> 新聞社 1社 鉄道沿線情報誌 1社 HPでの掲載 8社 ケーブルTV 1社 <p>■調査結果</p> <p>事業開始前と同一箇所でのイベント当日の歩行者通行量（10時～19時の9時間交通量）：29,000人 来訪者アンケート調査サンプル取得数 梅田地区関心層を対象とした調査：400サンプル（目標数：400サンプル） まち巡りラリー参加者を対象とした調査：174サンプル（目標数：200サンプル）</p> <p>■事業分析 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策として、2週間前からの開催告知となったため、十分な告知ができなかった。 歩行者交通量は、コロナ流行による来訪者数減少や当日雨天の影響により、事業開始前の歩行者交通量の半数以下（63,000人に対し29,147人）となっている。 <p>改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回取得したアンケートデータを次年度以降の取り組みに活かせるよう検討する。 イベント参加者数を増加させるための取り組みとして、参加意欲を掻き立てるような幅広い関係団体・施設などから募る。また、ラリースポットを増設することでさらに梅田を回遊していただけるよう検討する。 アンケート結果から、実際に体験できるイベントに魅力を感じる方が多く、次年度の実施の際は体験型コンテンツの増設などを検討する。 今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、告知や掲載媒体の露出を抑える形となったが、次年度開催の際は1ヶ月前から告知を開始するなど検討する。 雨天の際に会場によっては規模縮小などをせざるを得なかったため雨天でも変わらず実施できる場所など検討する。 次年度の開催の際は、開催前に梅田地区を掃除する活動など地域に貢献する活動の実施などを検討する。 次年度実施の際は、スタンラリーの参加率や梅田の回遊性向上につながることや、アンケートの回収率向上も見込めるため、イベントは短日開催ではなく、1カ月程度の期間の実施を検討する。また、期間中は毎週末にイベントを実施するなど歩く事を促進できるコンテンツや梅田から健康にまつわる情報をさらに発信できるよう検討する。
--

●評価年度における検証結果

<ul style="list-style-type: none"> 今回実施した際の参加者アンケート調査により、今回のような健康イベント開催が定常化したら、梅田に来る機会が増えるとの回答は約95%となっていることから、事業の有用性は確認しているところである。 昨年初めからの新型コロナウイルス感染症などによる影響が著しく、当日のイベントによる来訪者数は当初の目標を大幅に下回る結果となった。 アンケートによると、来訪者の消費活動に伴うエリア内の売上額の増加分といった経済効果が一定把握できたものの、データの精度を上げるためにアンケートの母数を増やしていく必要があることや、エリマネ活動による受益が認められる具体の商業施設の特定方法及びその根拠となるデータについては課題が残っている。 エリアマネジメント団体においては、次年度の社会実験の実施に向けてより多くの方に来訪いただく為、イベントコンテンツの改善を図るとともに、来訪者の行動パターンの把握に繋がるようアンケート項目の改善を含めた収集するデータの精査、より精度の高いデータ収集に向けた検討などに取組んでいく。 大阪市としては、地域再生エリアマネジメント負担金制度の導入に繋げるため、次年度の社会実験において、受益と負担の根拠をしっかりと把握できるよう、官民連携して取り組む。
--